

令和6年9月11日

各 位

一般社団法人 全国信用組合中央協会  
全国信用協同組合連合会

---

## 第2回「しんくみピーターパン大賞」受賞先の決定について

---

信用組合業界の表彰制度「しんくみピーターパン大賞」の受賞先がこのほど決定いたしましたので、お知らせします。

「しんくみピーターパン大賞」は、業界独自の社会貢献型クレジットカードである「しんくみピーターパンカード」\*を通じた寄付活動（しんくみピーターパンカードチャリティ）の特徴的な取組みを表彰するものです。

今回の表彰では、全国の信用組合、信用組合協会が取り組んだ「しんくみピーターパンカードチャリティ」のなかから、大賞1先、優秀賞1先の活動が決定いたしました。

\*「しんくみピーターパンカード」については別紙をご覧ください。

## 第2回「しんくみピーターパン大賞」受賞先

### ○大賞

大阪府信用組合協会	NPO 法人里親子支援機関えがおへの寄付活動
-----------	------------------------

### ○優秀賞

佐賀県信用組合協会	ケアマミへの寄付活動
-----------	------------

信用組合は、営利を目的とせず、相互扶助（共助の精神）を理念として活動する金融機関です。地域経済の活性化や社会・コミュニティの課題解決に向けた取組み、各種の社会貢献活動等、相互扶助を具現化した活動に日々取り組んでおります。

「しんくみピーターパンカードチャリティ」における寄付金は、難病や障害と闘っている子どもたちへの支援活動や、将来を託す子どもたちへの健全な育成活動に役立てられています。

「しんくみピーターパン大賞」を通じて、多くの方々に「しんくみピーターパンカードチャリティ」を業界が取り組む社会貢献活動の一つとして知っていただくことを目的としています。

【本件に関する問い合わせ先】	
一般社団法人 全国信用組合中央協会 ブランドコミュニケーション部 TEL：03-3567-2452 （平日：9：00～17：00）	全国信用協同組合連合会 総合企画部 TEL：03-3562-5115 （平日：9：00～17：00）

## 【大賞】

### 大阪府信用組合協会      NPO法人里親子支援機関えがおへの寄付活動

---

大阪府信用組合協会は、大阪府門真市に所在する「NPO法人里親子支援機関えがお」へ寄付金を贈呈した。

当NPO法人は、里親制度に関して里親や里子・養子を支援することを目的に、2019年に設立された団体で、里親たち自らが運営し、里親や養子を含めた子どものための研修事業やメンター事業、里親同士や子ども同士の交流、里親制度の啓発活動を中心に活動している。

寄付金は、社会的養護が必要な子供たちへの理解・里親制度の啓発を目的に当NPO法人が実施している絵画コンクールの費用（賞品やチラシ・ポスター作成費等の運営費）に充てられたこともあり、応募数が99作品と、前回の開催時と比べ3倍近い募集となり、今回の寄付金が本コンクールに大きく貢献した。

また、地元商業施設の協力のもと、入賞作品がギャラリーに掲示され、多くの人々の目に触れることで、里親制度の普及啓発にもつながっている。

## 【優秀賞】

### 佐賀県信用組合協会 ケアマミへの寄付活動

---

佐賀県信用組合協会は、佐賀市を拠点に活動する市民活動団体の「ケアマミ」へ寄付金を贈呈した。

ケアマミは、重症心身障害児\*（者）、障害児（者）の母親や家族のためのサークルで、障害児を子育て中の母親や家族が孤独な子育てにならないよう「地域の中にいつでも話に来られる居場所を作りたい」との思いから2023年に設立された。現在は37家族が会員となっており、毎月2回程度のケアマミcafé(茶話会)のほか障害児のためのフォト撮影会やクリスマス会等のイベントを不定期で開催している。

佐賀県信用組合協会は、ケアマミが他団体による寄付を受けた新聞記事やSNS等でケアマミの活動内容を知り、地域の障害児を持つ家族への支援が必要と考え、寄付金の贈呈先を選定した。寄付金は、撮影会やクリスマス会の開催費用の一部に充てられている。

特に、障害児（者）を持つ家族は、フォトスタジオでの撮影が困難な場合も多いことから、地域の公民館等を利用してフォトスタジオのスタッフによる撮影会を開催したところ、寄付により参加者の費用負担が軽減されたことから、フォト撮影会（2023年9月10日開催）には、参加上限の20組の家族が参加した。また、クリスマス会（2023年12月16日開催）では27名の子どもの参加があり、プレゼントの購入費用に充てられた。

寄付金贈呈式の様子が地元新聞紙に取り上げられるなど、しんくみピーターパンカード寄付活動を対外的にPRすることにもつながっている。

※重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態にある子ども

以 上

< 参考1 > 「しんくみピーターパンカード」について

「しんくみピーターパンカード」は、信用組合業界が株式会社オリエントコーポレーションと提携し、信用組合業界独自の社会貢献型クレジットカードとして、1994年に取扱いを開始して以降、106信用組合で約37万枚を発行しています（2024年3月現在）。

しんくみピーターパンカードの表面にはピーターパンがデザインされており、買い物などのカード利用代金の0.5%相当額\*が児童支援関連施設等に寄付される仕組みです（カード利用者の負担はありません）。このカードを使うだけで、多くの子どもたちへの支援につながります。

信用組合業界では、しんくみピーターパンカードを通じた寄付活動を「しんくみピーターパンカードチャリティ」とし、これまで、信用組合業界が選定を行う寄付は、毎年2千万円以上、総額4億円にのぼり、他業界でも他に類をみない社会貢献活動となっています。

また、当該寄付活動は、2018年に第15回企業フィランソロピー大賞（公益社団法人日本フィランソロピー協会主催）において「地域の未来創生賞」を受賞しています。

【贈呈先の選定】

- ①「難病や障害をもつ子どもとその家族の支援」を活動目的とする団体
- ②「子どもとその家庭の健全育成」を活動目的とする団体

以上を基に各信用組合・信用組合協会が半期毎に自主的に寄付先を選定。

【寄付金使途】

- ①難病や障害をもつ子どもとその家族の支援
- ②子どもとその家庭の健全育成

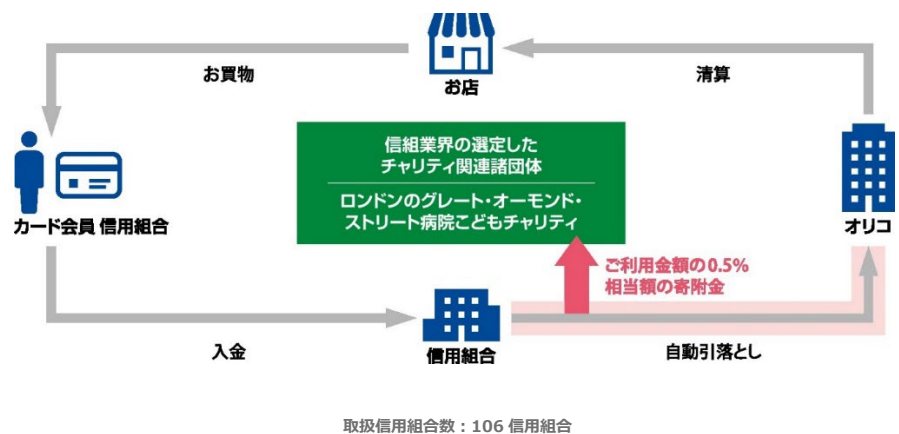
【贈呈方法】

- ①金銭による寄付
- ②物品による寄付

<見本>



<寄付の仕組み>



\*利用代金の0.5%相当額（0.3%：信用組合業界が選定、0.2%：ロンドンのグレート・オーモンド・ストリート病院子どもチャリティ）を寄付

< 参考2 > 第2回「しんくみピーターパン大賞」について

1. 目的

信用組合および信用組合協会（地区協会および都道府県協会をいう。以下同じ。）が行う「しんくみピーターパンカード」寄付活動の特徴的な取組みを表彰し、業界内外へ還元することで、寄付活動のさらなる活性化に繋げるとともに、信用組合業界の社会貢献活動（寄付活動）を広く認知させ、ブランドイメージの向上を図る。

2. 表彰対象

- ・「しんくみピーターパンカード」寄付活動を実施している信用組合および信用組合協会
- ・対象期間は、前年（1月～12月）の寄付活動とする。

3. 選考方法

しんくみピーターパン大賞選考会にて厳正に選考のうえ、表彰先候補を選定し、全信中協理事会で表彰先を決定する。

4. 選考のポイント

以下の項目を総合的に判断して行う。なお、活動の内容がすべての項目に該当しなくとも、特定の項目において顕著な取組みが認められる場合、評価の対象とする。

- ①革新性、②コミュニティとの一体性、③話題性、④模範性

5. しんくみピーターパン大賞選考会 委員

- |       |               |                     |
|-------|---------------|---------------------|
| 中村 健  | 株式会社全国信用組合新聞社 | 顧問                  |
| 伊藤 麻美 | 日本電鍍工業株式会社    | 代表取締役               |
| 柳沢 祥二 | 全国信用組合中央協会    | 会長                  |
| 北村 信  | 全国信用組合中央協会    | 理事長、全国信用協同組合連合会 理事長 |
| 吉澤 守  | 全国信用組合中央協会    | 専務理事                |
| 濱田 秀夫 | 全国信用協同組合連合会   | 専務理事                |

※所属は令和6年9月現在、敬称略